

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

注意事項等情報改訂のお知らせ

2026 年 8 月



製造販売元
日本ケミファ株式会社
東京都千代田区岩本町2丁目2-3



販売元
日本薬品工業株式会社
東京都千代田区岩本町2丁目2-3

処方箋医薬品

持続性Ca拮抗剤
日本薬局方 **アゼルニジピン錠**
アゼルニジピン錠8mg「ケミファ」
アゼルニジピン錠16mg「ケミファ」
Azelnidipine Tablets 8mg・16mg “Chemiphar”

このたび、標記製品の注意事項等情報を改訂致しましたので、ご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

< 1. 改訂内容（2026 年 8 月改訂） >（該当部分のみ抜粋）

【1】「禁忌」の項の記載を一部改訂し、以下のように改めました。

下線____部：追記箇所

改訂後	改訂前
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1、2.2 省略、変更なし 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、<u>ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブ</u>を投与中の患者	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1、2.2 省略 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者

◇裏面もご覧ください

【2】「相互作用」の「併用禁忌」の項の記載を一部改訂し、以下のように改めました。

下線部：追記箇所

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略、変更なし		これらの薬剤が	省略		これらの薬剤が
省略、変更なし	本剤の作用が増強されるおそれがある。	CYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	省略	本剤の作用が増強されるおそれがある。	CYP3A4を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
クラリスロマイシン			クラリスロマイシン		
クラリス、クラリシッド			クラリス、クラリシッド		
セリチニブ			セリチニブ		
ジカディア			ジカディア		
ツカチニブ エタノール付加物					
ツカイザ					
ロナファルニブ					
ゾキンヴィ					

< 2. 改訂理由 >

◆自主改訂

先発剤の改訂に基づき、相互作用相手薬の記載と整合性をとるため、「ツカチニブ エタノール付加物」（製品名：ツカイザ）及び「ロナファルニブ」（製品名：ゾキンヴィ）を「禁忌」及び「併用禁忌」の項に追記しました。

- 今回の改訂内容につきましては医薬品安全対策情報（DSU）No.348（2026年9月発行）に掲載される予定です。
- 最新の電子添文は独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページの「医薬品に関する情報（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）」及び弊社ホームページの「医療関係者向けサイト（<https://www.npi-inc.co.jp/medical/products>）」に掲載されます。

また、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」で下記 GS1 コードを読み取ることによりご覧いただくこともできます。

